



広報よこはま  
港北区版を  
スマホで読む



港北区  
ツイッター



6月号  
No.296

こっほく

掲載内容は、新型コロナウイルス感染症の影響により変更となる場合があるため、事前に問合せ先に確認してください

# 河川氾濫に関する避難情報を改めて確認しよう

6月から10月は出水期と呼ばれ、集中豪雨や台風による洪水が起こりやすい時期です。港北区は鶴見川に加え、その支流である早淵川や鳥山川等、計6つの川が流れており、洪水のリスクが高い地域です。避難情報と状況に応じた避難行動を確認しましょう。

●問合せ 総務課 防災担当 ☎540-2206 📠540-2209

警戒レベル	3	4	5
避難情報	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
とるべき行動	危険な場所から高齢者等は避難	危険な場所から全員避難	命の危険直ちに安全確保!

## 1 日頃から気象情報に注意しましょう

大雨の予報がある場合は、洪水ハザードマップやマイタイムライン等を活用して自身の避難行動を前もって確認しておきましょう。

詳細は [横浜市 マイタイムライン](#) 検索

## 2 いつでも避難できるように準備しましょう

台風等による大雨が予想される場合には、雨が降り始める前に高齢者等避難や避難指示を発令する場合があります。

## 3 避難情報発令(高齢者等避難・避難指示)

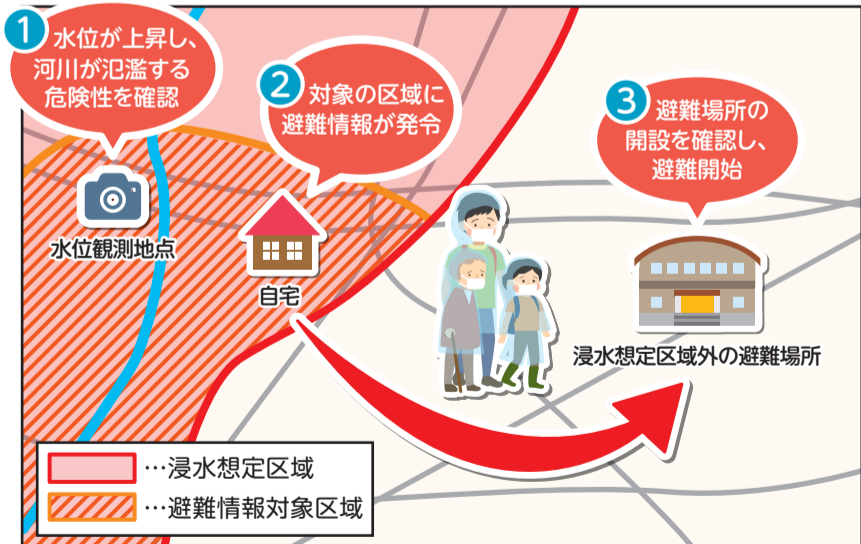
**警戒レベル3 高齢者等避難**  
対象区域の避難に時間を要する人とその支援者は避難を開始します。

**警戒レベル4 避難指示**  
対象区域の人は避難を開始します。

## 4 緊急安全確保が発令される前に、避難完了!

**警戒レベル5 緊急安全確保**  
すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。今居る場所よりも安全な場所(上階や高台等)へ直ちに移動してください。

## 避難行動の例



※避難場所の開設状況は、市ウェブサイトやテレビのデータ放送等で確認できます  
※避難指示が出ていない場合でも、大雨時には周辺状況に注意してください

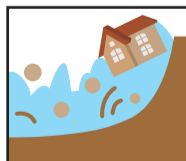
## 在宅避難のススメ

次の条件を満たす場合、自宅にとどまることも検討してみましょう。住み慣れた場所で避難生活を送る方が、ストレスなく過ごすことができます。

- 1 自宅が家屋倒壊等氾濫想定区域内に入っていない
- 2 居室が想定浸水深より高い



水の流速が速いため、木造家屋は倒壊する恐れがあります



地面が削られ、家屋は建物ごと崩落する恐れがあります

3・4階	5m~10m未満 (3階床上浸水~4階軒下浸水)
2階	3m~5m未満 (2階床上~軒下浸水)
1階	0.5m~3m未満 (1階床上~軒下浸水)
床下	0.5m未満(1階床下浸水)

家屋倒壊等氾濫想定区域や想定浸水深は、洪水ハザードマップで確認できます。洪水ハザードマップは、区役所・区内行政サービスコーナーで配布し、市ウェブサイトでもダウンロードできます。

港北区役所

〒222-0032  
港北区大豆戸町 26-1  
☎540-2323 (代表)  
📠540-2227

開庁日

なるべく電車・バスで  
ご来庁ください

月~金曜(祝休日・年末年始除く) 8時45分~17時  
第2・4土曜 9時~12時 6月は11日・25日  
(戸籍課・保険年金課・子ども家庭支援課の一部の窓口)

港北区の  
データ  
(2022年  
5月1日現在)

人口  
361,077  
世帯数  
178,652